

令和4年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 21
千葉県立八千代高等学校 全日制の課程 家政科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 作文	字数：500文字以上600文字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。第3学年の必修教科で評定1または2がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上、3年間の合計が45日以上の場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動等について、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 家政科に対する意欲	家政科での高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 礼儀・作法・身だしなみ	基本的なあいさつ、対人作法等が身につけており、服装、頭髪等の身だしなみが整えられている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、わかりやすく回答をすることができる。
エ ものの考え方	家政科での学びにふさわしい考え方をしている。

(3) 各高等学校において別に定める検査(作文)〔40点満点〕

4名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(標準に達していない)の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、4名の評価者の評価(各10点満点)を合計し、得点化する。

評価項目	評価基準
ア 字数・文章表現	指定された字数に対して過不足がない。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。
イ 内容・全体構成	与えられたテーマに対して内容が適切である。 全体としてまとまりがある。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点 評価	面接の得点	各高等学校において別に 定める検査の得点	総得点
135点	40点	40点	215点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

4 その他

過年度卒業者については、各高等学校において別に定める検査終了後、別途個人面談を行う。